

## 2024 年度事業計画

一般社団法人京都府計量協会

(1) 京都府定期検査業務（京都市以外）：2024 年度・・・偶数年度地域

検査 期間	検査実施市町村名		
	集合検査（所在）	巡回検査	トラックスケール
5月		綾部市、福知山市、京丹後市	
6月	綾部市、京丹後市、 大山崎町、向日市	京丹後市	
7月	長岡京市	向日市、長岡京市、大山崎町、 亀岡市、木津川市、南山城村、 和束町、笠置町	
8月	福知山市	木津川市、精華町	
9月	亀岡市、木津川市、 笠置町、南山城村		
10月	和束町、精華町		北部、南部
11月			南部

(2) 京都府定期検査業務（京都市内）：2024 年度・・・偶数年度地域

検査 時期	集合検査	巡回検査	所在場所検査	トラックスケール
4月	下京区			
5月		下京区		市内全域
6月	西京区	下京区		
7月	西京区	西京区	市内全域	
8月	山科区		市内全域	
9月	南区	山科区		
10月	南区	南区		
11月	左京区	左京区		
12月		左京区		
1月	右京区			
2月	右京区	右京区		
3月	右京区	右京区		

(3) 京都府「検定」の補助業務

京都府計量検定所指導の下、京都府計量検定所が実施する装置検査、基準器検査、質量計等の「検定」業務の補助業務を履行する。

(4) 京都市事前調査業務

政令指定都市である京都市は、計量法により、定期検査および定期検査のための事前調査を行うことが義務付けられている。京都市から受注し実施する。

(5) 日本郵政グループ計量管理業務の実施

(一社)日本計量振興協会から受託した日本郵政グループの計量管理業務を実施する。2024 年度は、偶数年度に対応する府内 245 局の郵便局、簡易局、旧集配センターを対象に特定計量器の定期検査を行う予定である。当年度業務では、郵便局が所有する自主点検用分銅の点検校正も含む。担当計量士 7 名。

(6) 適正計量管理事業所等からの計量管理業務の受託

特定計量器を管理、使用する適正計量管理事業所からの依頼を受け、計量管理や計量器の検査業務を実施する。

(7) 代検査業務受託

企業・商店・個人等からの代検査依頼を受託する。

(8) 協会・部会活動推進と計量啓発事業

1) 協会活動事業

年賀交歓会、総会、理事会、部会役員会を通じて各社員間の意思疎通と会員啓発を図り協会の発展に努める。また、協会計量功労者表彰、京都府計量功労者表彰等への推薦を実施し、会員の啓発に努める。

2) 各部会の活動事業の推進

- i) 計量器工業部会：a)工場等施設見学会、講演会の企画・実施
- ii) 計量管理部会：a)適正計量管理事業所計量担当者を主体とした講習会の開催、b)計量標語募集、表彰、c)法令改正等の講習会開催
- iii) 計量証明部会：a)主任計量者講習会の開催（年3回）、b)機関誌「かわら版」発行、c)日計証連事業への参画、d)京滋合同役員会開催
- iv) 環境計量証明部会：a)環境計量士交流会開催（年2回）、b)会員各社による共同実験の企画・開催（滋賀県企業も参画）、c)施設見学会の開催
- v) 計量士部会：a)総会・夏期例会開催、b)冬期例会開催、c)測定実務研修会、計量関連講習会の開催、d)日本計量振興協会事業参画

(9) 講習会・研修会および会員の親睦・情報交換事業

1) 自動はかりの検定制度

計量法政省令改正において、自動はかりが特定計量器に指定され、自動はかり（自動捕捉式はかり）の検定制度が開始（2019年4月～）され、1年遅れて、自動はかり3器種（ホッパースケール、充填用自動はかり、コンベヤスケール）の検定制度が開始（2020年4月～）された。

経済産業省では、検定対象範囲や検定実施スケジュールなどについて見直しの検討を進めており、2021年7月27日および2022年8月5日に計量法施行令等の一部改正が公布された。要点は以下のとおり。

- ① 自動はかりのうち「目量が10mg未満のもの又は目盛標識の数が100未満のもの」を特定計量器から除外
- ② 自動捕捉式はかりのうち「ひょう量が5kgを超えるもの」を検定対象から除外
- ③ 自動捕捉式はかりの使用の制限の開始日を2年延期
- ④ 他の3器種の使用の制限の開始日を5年延期
- ⑤ 自動はかり4器種の検定手数料に係る特例の対象期間を改定（使用の制限の開始日を変更したことに伴うもの）

また、2024年3月現在指定されている「器差検査を中心とした指定検定機関（自動捕捉式はかり）」は下表のとおり。

機関名	地域ブロックの区分	指定日
株式会社寺岡精工 株式会社デジアイズ	全ブロック <sup>(注)</sup>	2021年3月31日 2024年3月8日更新
大和製衡株式会社	全ブロック <sup>(注)</sup>	2021年10月18日
株式会社エー・アンド・デイ	全ブロック <sup>(注)</sup>	2021年10月18日
アンリツインフィビス株式会社	全ブロック <sup>(注)</sup>	2022年9月30日
全国自動はかり検定株式会社	全ブロック <sup>(注)</sup>	2023年9月20日

(注) 地域ブロックとは、次の6ブロック。

- ① 北海道・東北：北海道、青森、秋田、山形、岩手、宮城、福島
- ② 関東・甲信越：新潟、長野、栃木、群馬、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
- ③ 東海・北陸：静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
- ④ 近畿：滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫

⑤ 中国・四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、高知、香川、愛媛

⑥ 九州・沖縄 : 福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

- 2) 受託業務従事計量士向け講習会、研修会の実施  
計量の「安心・安全」を確保し、法律に則った正確な計量検査を実施するため、受託業務従事計量士の技術研修会を適宜実施する（はかり検査、他）。
  - 3) 計量技術者向け講習会、研修会の実施  
計量技術者（社内、社外対象）向けの計量に関する研修会を開催し、計量技術者の技術力向上と技術者養成に努める。（計量関連講習会、計量・計測業務担当者のための研修会、現場技術者のための測定実務研修会、計量士部会例会講演会）
  - 4) 部会間の連携拡大  
会員、部会間の連帯意識高揚のため、部会の枠を越えて企画事業のオープン化を進める。その一環として 2022 年度に立ち上げた「不確かさ京の会」を今年度も継続する。
  - 5) 情報交換
    - i) 計量ニュースの発行
    - ii) 京都府計量協会ホームページの継続・維持
- (10) 計量意識、思想の普及と啓発
- 1) 京都府計量検定所が実施する計量啓発事業に協力参加する。
  - 2) 全国計量月間（11月）計量記念事業
    - i) 全国計量月間に合わせて、京都府、京都市、経済産業省等が主催する各種の記念行事に参加し、計量の普及・啓発に努める。
    - ii) 「京都府計量功労者表彰および計量管理実施優良事業者表彰」に向けて、社内功労推薦を行う。
  - 3) 京都府内市町村が主催する「消費者まつり」等に京都府計量検定所が協力参加する啓発事業に協賛し、府民への計量啓発に努める。
  - 4) 近畿計量大会（大阪）  
2024年11月15日(金) シェラトン都ホテル大阪にて開催予定である。近畿2府4県の業界関係者との情報交換を通じて交流を深め、計量活動へ役立てる。
  - 5) ホームページを通じて府民・市民への計量啓発に努める。
- (11) その他
- 1) (一社)日本計量振興協会との連携、企画事業等諸行事への参加
  - 2) 計量関係法規改正等の周知ならびに関係書籍の紹介
  - 3) 「計量記念日ポスター」、「計量ひろば」((一社)日本計量振興協会発行)の配布